

令和元年度校内研究計画

1 研究主題

進んで考え、豊かに伝え合える子の育成
～交流活動を取り入れた授業づくりを通して～

2 目指す児童像

- 低学年 ・自分の伝えたいことを進んで表現することのできる子供
・相手の考えをよく聞き、正確に理解することのできる子供
- 中学年 ・相手や目的に応じて表現し、伝えることのできる子供
・相手の考えを受け止め、自分の考えとの違いを理解できる子供
- 高学年 ・自分の考えや思いを様々な方法で表現し、伝えることのできる子供
・相手の考えを受け止めて、比較、統合して自分の考えを深めること
ができる子供

3 教科領域

国語 算数 理科 社会 生活 音楽 図工 家庭 体育 道徳 特活
総合的な学習 外国語活動

4 テーマ決定の経緯

これまでの研究テーマの豊かに表現は、どうしたら豊かな表現なのか、表現とはどんな様子をさすのかが曖昧すぎた。「豊かに伝える」は、その豊さは、個々の成長を追えば豊かな成長は見取り評価することはできると考える。

サブタイトルは、具体性がないと研究がぶれると考えた。そこで、どの教科、授業にも必ず「交流活動」を位置づけた授業を展開し、そこでの伝え合いをすることで伝え合えるこの育成を目指す。

今年度は、授業全体を見通して、豊かに伝え合えるための場、発問、教材、展開等全てが授業づくりとなるだろう。

5 研修計画

- ・各学年1回は研究授業を行う。研究授業指導者以外の先生は、事前授業を行い、学団で見合う。また、若手研修として必ず指導主事を呼び、授業研修を行う。学団以外でも授業を参観することは可能。その授業を基に本時案を更に練ってより良いものを作っていく。指導案説明会は、職員会議内や打ち合わせの時間を活用して全学年実施する。
- ・研究授業は、年に3回実施する。
- ・児童の実態を把握して、より実態に沿った研究を行う。
- ・授業研を終えた後もその1回で終わらず、継続して研究テーマに迫る。
- ・授業研の後に全教職員で検証をする。